

# 大人の事情

転落表



# ATS01 大人の事情

## クレジット

著：アツメ (twitter:@2d6\_7)

編集：鮎方高明

挿絵：アツメ (twitter:@2d6\_7)

元挿絵：ジョン・ハーバー

## お約束の但し書き

この【転落】表は、ロールプレイング・ゲーム『フィアスコ』(Bully Pulpit Games) のアクセサリです。

『フィアスコ』について知りたい方は、もしくは他のプレイセットや資料に興味のある方は、[harrowhill.rdy.jp](http://harrowhill.rdy.jp) をご参照ください。

もしプレイセットや『フィアスコ』関連コンテンツの作成に興味があるなら、協力できます。その際は、[dunhere@harrowhill.rdy.jp](mailto:dunhere@harrowhill.rdy.jp) (日本語) か [info@bullypulpitgames.com](mailto:info@bullypulpitgames.com) (英語) までご連絡下さい。

This playset is copyright 2020 by Atsume. *Fiasco* is copyright 2009 by Jason Morningstar. All rights are reserved.

フォントは『たぬき油性マジック』『懐映体』『源ノ明朝』を使用している。またダイスフォントは Madirishman 製である。



# 背景

あらゆるプレイセットを「……というドラマ撮影だったんだが」に(きっと) 変える【転落】表。

最初は至って順調な撮影、しかし現場で起こるハプニング。

それは現場の混乱かもしれない、不祥事かもしれない、予算かもしれない、急なテコ入れかもしれない。何にせよ演者たちは制限やストレスを強いられ、頑張っ  
て撮影していた作品は混沌とした状態になることだろう。撮影はそれでも続けな  
くてはいけない。

悪化する環境の中でせめて作品だけはきっちり仕上げるか、それとも仕事を放棄  
して適当に話をまとめるか。

『フィアスコ』 縛りプレイ。全面的に難易度が高くなるはずなので『フィアスコ』 慣  
れしてる仲の良い人とプレイすることがオススメ。

## 「大人の事情転落表」遊び方

1. プレイセットを選び、1 幕目は深く考えず通常通りの『フィアスコ』をプレイし  
ます
2. 「大人の事情転落表」を決めます
3. 2 幕目は「1 幕目の内容を演じていた役者」も PC となります。1 幕目の続き  
の内容を演じながら、その裏でてんやわんやする役者達の悲喜交々を描写し  
ましょう
4. 残響は基本的に役者に降りかかります(死ぬ場合は「役者人生が終わり」と  
読み替えても良いでしょう)。作中作の展開も散々になるかと思われま  
すので、「1 幕目の役柄 PC」の後日談を描写しても構いません

## 参考作品

『ゲイシャ・ガール・ウィズ・カタナ』、『カメラを止めるな』、『トゥルーマン・ショー』、  
その他大人の事情が途中から入り込んだと思われる作品

## 選択ルール

【転落】表を決める人「以外」で完成した作品の興行的成功度が決まる。

【転落】表を決める人「以外」の全員のダイスの黒と白の差分を見て残響表を参照  
する。(pp.58 ~ 59)

【残響】表の「太字」の部分のみを使用し、作品の売り上げを決める。

例：黒の1 だった場合「凄惨」な売り上げとなる。おそらく借金かなんかしてて、  
返済できる売り上げではなかったのだろう。

# 大人の事情転落表

## 1 現場の大混乱

- 手の付けられないスタッフ（照明やカメラ）のストライキ
- ◻ 許可が取れてないロケ地での撮影（警察との追走劇）
- ◻ 本物の心霊現象が起きた・解き放たれた
- ◻ この上なく予算がない
- ◻ セットが壊れた
- ◻ カメラを止めるな（1 幕目の舞台裏）

## 2 役者にまつわる悲劇

- 不意の役者のスキャンダルによる交代
- ◻ キャラクター A の設定が変わってしまう、それも悪い方に
- ◻ 役者の過労により演技がめちゃくちゃになる
- ◻ スタントマンが解雇され、アクションを役者がやる羽目になる
- ◻ 役者の不仲の共演 NG が訪れる
- ◻ セクハラとパワハラの苦しみ

## 3 監督の無垢

- 実は脚本が昨日と違う
- ◻ 監督が素人の身内を役にねじ込んでくる
- ◻ インタビューなどにより作品のハードルが無意味に上がってきた
- ◻ 巻き添え規制（特定の表現ができなくなる）（NG ワードの設定など）
- ◻ 監督が特定キャラを最優先し始める
- ◻ 善意の枕営業の強要

## 4 作品が有罪

- エログロ表現が一切使えなくなる（表現をマイルドにされる）
- 役者と役柄の関係の食い違い
- 原作者にディスられ、原作要素の追加（展開の停滞）
- 殺人事件が起こる
- スケジュールが壊れる
- 整合性の取れない後付け設定の対決

## 5 テコ入れ

- 打ち切り、枠短縮
- 何か偶然とは思えないグッズの販促を入れられる
- 不自然なお色気シーンのねじ込みを要求される
- ジャンルが突如一転する（喜劇が悲劇、悲劇が喜劇に）
- 死んだものが生き返る
- もっと過激にしると要求される（設定のインフレ）

## 6 破綻

- 俳優の実力が追いつかなくなる
- 風呂敷がたためない
- 役者の体型が変わってしまう（声変わり、成長期など）
- 続編の伏線を入れろと言われる
- 重要だったはずの設定がなかったことになる
- 全てが衣装の破壊へと繋がる

7

**それが……大人の事情**